DIALOG(R)File 351:Derwent WPI (c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

010287235 **Image available**
WPI Acc No: 1995-188494/ 199525

XRAM Acc No: C95-087482 XRPX Acc No: N95-147789

Mfr. of planar image display appts. for colour TV - involving removal of foreign material adhesion on inner wall surface of front glass receptacle by electrical impact

Patent Assignee: MATSUSHITA DENKI SANGYO KK (MATU) Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week
JP 7105850 A 19950421 JP 93246862 A 19931001 199525 B

Priority Applications (No Type Date): JP 93246862 A 19931001 Patent Details:
Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes JP 7105850 A 5 H01J-009/38

Abstract (Basic): JP 7105850 A

The mfg. method involves applying a fluorescent material to an inner face of a front glass receptacle (9). An electrode block (24) which consists of a back electrode (1) and line cathode (2) is grounded. The back electrode is suspended on a rear glass receptacle (10). A positive high voltage pulse is applied to a screen (21) which has a metal layer for a fixed time. The discharge in the pipe is generated. The screen is placed inside a front glass receptacle. A vacuum is maintained inside the front glass receptacle. In the space between the back electrode, the line cathode, an electron beam excitation electrode, a signal electrode, a focussing electrode, a horizontal deflecting electrode and a vertical deflecting electrode are placed. The foreign material adhering on the inner wall of the front glass receptacle is removed by the electrical impact.

ADVANTAGE - Removes foreign material adhering on inner wall of front glass receptacle. Reduces unnecessary current leakage of screen. Reproduces image with good clarity. Reduces leakage of high voltage due to impurity on inner wall of front glass receptacle.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

and The matter are all the second of the sec

en de la Marie de la Carte La carte de la

and the state of t

Searching PAJ

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

07-105850

(43) Date of publication of application: 21.04.1995

(51)Int.CI.

H01J 9/38 H01J 9/24

H01J 31/12

(21)Application number: 05-246862

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22)Date of filing:

01.10.1993

(72)Inventor: SHIGETA TOSHIO

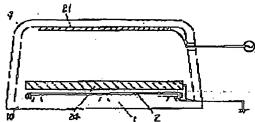
SAWADA HIDEMICHI

(54) MANUFACTURE OF FLAT IMAGE DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To solve the problem of a high voltage leak by the contamination of the inner wall of a front glass vessel, and reproduce an image of good quality in an image display device used for various image equipments.

CONSTITUTION: Taking, as a ground voltage (0 V), the voltage of an electrode block 24 formed of a back plate 1 integrated into a rear glass vessel 10, plurally laid linear cathodes 2, and each electrode, a plus high pulse voltage is applied to a screen consisting of a metal back layer formed on a front glass vessel 9 for a fixed time. A tube internal discharge is caused thereby, and a foreign material on the inner wall of the front glass vessel is removed by its electric shock. The unnecessary leak ourrent on the screen is removed by the removal of the foreign material on the inner wall of the front glass vessel 9, and an image of good quality can be reproduced.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO).

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出廢公開番号

特開平7-105850

(43)公開日 平成7年(1995)4月21日

(51) Int.CL ⁶		微別記号	庁内盛理番号	FI	•	技術表示箇所
H01J	9/38	Α	9469-5E			
-	9/24	B	9469-5E		* * *	
	31/12	В				~ .

審査論求 未請求 論求項の数2 OL (全 5 頁)

	•		
(21)出願番号	特類平5-246862	(71)出願人	000005821 松下電器産業株式会社
(22)出願日	平成5年(1993)10月1日		大阪府門真市大字門真1006番地
	* *	(72)発明者	選田 俊雄
			大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
			産業株式会社内
		(72)発明者	澤田 英道
			大阪府門兵市大字門兵1006番地 松下電器 産業株式会社内
	e a	(74)代理人	弁理士 小鍜治 明 (外2名)

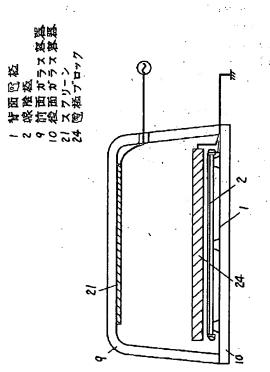
(54) 【発明の名称】 平板型画像表示装置の製造方法

(57)【要約】

【目的】 各種映像機器に使用される画像表示装置において、前面ガラス容器の内壁の汚れによる高圧リークという問題を解決し、良質の画質を再現する画像表示装置を実現できることを目的とする。

【构成】 後面ガラス容器10に一体化した背面電極 1、複数本架張された線陰極2と各電極からなる電極ブロック24の電圧をグランドレベル(0V)として、前面ガラス容器9に形成されたメタルバック層からなるスクリーン21にプラスの高圧パルス電圧を一定時間印加する。これにより、管内放電が発生し、その電気的衒學により前面ガラス容器の内壁の異物が除去される。

【効果】 前面ガラス容器の内壁の異物が除去され、スクリーンの不要なリーク電流を減少し、良質の画質を再現する。



【特許請求の範囲】

【簡求項1】 前面ガラス容器の内面に蛍光体を塗布すると共にメタルバックされたズクリーンと、後面ガラス容器と一体化した平面状の背面電極と、前記背面電極と前記スクリーンによって挟まれた空間に、線陰極、電子ピーム引出電極、信号電極、集束電極、水平偏向電極、および垂直偏向電極と、且つこれらを真空状態に収納する前記前面ガラス容器と、前記後面ガラス容器からなる平板型画像表示装置において、高圧パルス電圧を前記スクリーンとその他の電極群との間に印加するスパーキングにより、前記ガラス容器の内壁の異物除去処理をする事を特徴とする平板型画像表示装置の製造方法。

【請求項2】 スパーキングによる異物除去処理の際、加熱する事を特徴とする請求項1記載の平板型画像表示 装置の製造方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、映像機器における画像 表示装置の製造方法に関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来、カラーテレビジョン画像表示素子としては、ブラウン管が主として用いられているが、ブラウン管では、画面に比して奥行きが非常に長く、薄型テレビジョン受像機を製作することは不可能であった。そこで平板上の表示素子としてEL表示素子、ブラズマ表示素子、液晶表示素子等が開発されているが、何れも輝度、コントラスト、色再現性等性能面で不十分である。そこで、ブラウン管並の高品質の画像を電子ビームを用いた平板上の装置で表示することを目的として、スクリーン上の画面をマトリックス状の区分に隙間なく分別し、各々の区分毎に電子ビームを偏向走査して蛍光体を発光させ、全体としてカラーテレビジョン画像を構成する画像表示装置画開発されている。以下図面を参照しながら、上述した従来の画像表示装置の一例について説明する。

【0003】まず図4は、従来の画像表示装置の構成を示すものである。図4において、1は背面電極、2は電子ピーム源としての線陰極、3は電子ピーム引出電極、4は信号電極、5は第一集東電極、6は第二集東電極、7は水平偏向電極、8は垂直偏向電極であり、これらの40構成部品を前面ガラス容器9と後面ガラス容器10の中に収納し容器内を真空としている。

【0004】線陰極2は水平方向にほぼ一様な電流密度 分布の電子流を発生するように水平方向に架張されており、適宜間隔を介して垂直方向に複数本(本実施例では 4本のみ示してある。)設けられている。これらの線陰 極2は、例えばタングステン線の表面に酸化物陰極材料 が強着されて構成される。背面電極1は平板状の等電材 からなり、線陰極2に対し平行に設けられている。電子 ピーム引出電極3は線陰極2を介して背面電極1と対向 50

し、水平方向に適当な間隔で設けられた貫通孔11の列を各線陰極に対向する水平線上に有する導電板からなる。信号電極4は、電子ピーム引出電極3における貫通 れ11の各々に水平方向相対向する位置に所定間隔を介して複数個配置された垂直方向に細長い導電板12の列からなり、各導電板12においては、電子ピーム引出電極3の貫通孔11に相対向する位置に、同様の貫通孔13を有している。第一集束電極5は、信号電極4の貫通孔13と各々に対向する位置に質通孔14を有する導電板からなる。第二集束電極6は、第一集束電極5の貫通孔14に相対向する位置に縦につながったスリット孔15を有している。

【0005】水平偏向電極6は、同一平面に適宜間隔を 介して互いに噛み合った2枚の櫛歯状の端部でつながっ た導電板16及び17から構成されており、水平偏向電 極16、17の間に作られた空間18は、第二集東電極 6の貫通スリット孔15と相対向している。垂直偏向電 極8は、19、20に示すごとく端部で連結された導電 板、すなわち2枚の櫛歯状の導電板を同一平面上で適宜 間隔を介して互いに噛み合せた構成からなり、たとえば 電子ピーム23に対しては、下方の導電板19と、上方 の導電板20によって一対の垂直偏向電極を成す。スク リーン25は、電子ビームの照射によって発光する蛍光 体21を前面ガラス容器9の内面に塗布し、その上にメ タルパック層(図示せず)が付加されて構成される。ま た、前述した電子ビーム引出電極3、信号電極4、集束 電板5及び6、水平偏向電板7、垂直偏向電極8は、各 々絶縁性の接着剤(図示せず)で接合されており、一体 の電極ブロック24を形成している。また、前記線陰極 2を取り付け部材(図示せず)を用いて適宜間隔を設け て前記背面電極1に取り付けたものと、前記電極プロッ ク24が絶縁固定されており、一体の電極ユニットを形 成している。また、この電板ユニットは、後面ガラス容 器10に固定された固定台に(図示せず)、例えばネジ などを用いて適宜間隔を設けて、前記後面ガラス容器1 0に平行になるように固定されている。

【0006】以上のように構成された画像表示装置について、その動作を説明する。まず、背面電極1に電圧V1、電子ビーム引出電極3にV1より高い電圧V2を印加する。さらに線陰極を加熱し、電子放出をさせる為にV1<V0<V2なる適切な電圧V0を線陰極2に印加すれば、線陰極2の表面の電界が正となって電子流が放出され、電子ビーム引出電極3に向かって加速される。また、たとえばV0>V2なる電圧V0を線陰極2に印加すれば、線陰極2の表面の電界は負となり電子の放出を抑止することができる。そこで、線陰極の電圧を個別に制御することにより、線陰極2を上方から順に一定時間ずつ電子ビームを放出させるように繰り返し、線陰極1本毎に水平人向に一様の電流密度分布を持ったシート状の電子ビームを発生させることができる。上記のシー

--290---

3

ト状電子ビームは、次の電子ビーム引出電極3の貫通孔 11によって水平方向に複数個に分割され、更に多数の **氫子ピーム列23となって信号氫粒4の貫通孔13に到** 着するが、この際に、信号電松4の電圧V3をV3>V 0とすれば質子ピームは通過し、V3<V0とすれば質 子ピームは運動エネルギーを失って通過できなくなる。 そこで、V3を経時的に制御することにより、絵案を表 示するための映像信号に応じて電子ビーム通過量を各電 子ピーム毎に調節する。信号質極4を通過した質子ピー ムは、次に第一集束管極5、第二集束管極6に到達し、 貫通孔14、スリット孔15の静電レンズ効果によって 築東された後、水平偏向は粒7の相隣る導は板16、1 7間及び垂直偏向電極8の相隣る導電板19、20間に 与えられる質位差(偏向質圧と呼ぶ)によって水平及び 垂直に辞電뎺向される。さらにスクリーン25のメタル バック層には高電圧(例えば13kV)が印加されてお り、電子ピームは高エネルギーに加速されてメタルパッ クに衒突し、蛍光体21を発光させる。

【0007】メタルバック層に高電圧を付加する際、高 圧端子(ここでは図示せず)を介しており、この高圧端 20 子は、絶録性の接着剤によって、高温状態で前面ガラス 容器9に取り付けられている。

【0008】テレビジョン画面を縦横にマトリックス状に分割し小区分25の集合体としたとき、各小区分に対し上述のようにして分離された電子ビームを各一本ずつ対応させ、電子ビームを各小区分内のみ偏向、走査することによって、全画面をスクリーン上に映し出すことができる。また各絵素に対応したRGB映像信号を信号電極電圧で上述のように経時的に制御することにより、テレビジョン動画を再現することができる。

[0009]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上配のような構成では前面ガラス容器の内壁に、部品段階または製造工程での洗浄不足あるいは異物の付着による汚れによって、メタルバック層に高電圧を付加する際、電流が前面ガラス容器の内壁沿いにリークしてしまい、設定電圧を確保できなかったり、その電流により前面ガラス容器の内壁が発光するという問題点を有していた。

【0010】本発明は上記問題点を解決するもので、前面ガラス容器の内部の異物による汚染を解消し、商品質 40な画像表示装置の製造方法を提供することを目的とする。

[0011]

【課題を解決するための手段】この目的を達成する為に、製造工程中で、画像表示装置の正常効作時より十分高い高圧パルス電圧をスクリーンとその他の電전群との間に印加するスパーキング(強制管内高圧放電)により、ガラス容器の内部の異物除去処理をする。

[0012]

【作用】この手段によって、前面ガラス容器の内面とそ 50 ても同様の効果が得られることは言うまでもない。

の他の電極群間の電位差の作用により、前面ガラス容器 の内壁の異物が除去し、スクリーンの不要なリーク電流 を減少させ、画質の劣化を引き起こすことなく、良質の 画質を再現することができる。

[0013]

【実施例】

(実施例1)以下本発明の一実施例について、図面を参 照しながら説明する。

【0014】図1は、本発明の第1の実施例における図 俊表示装置のスパーキングの様子を示した断面図であ る。図1において、1は背面電極、2は線陰極、24は ©極プロック、21はスクーン、9は前面ガラス容器、 10は後面ガラス容器である。図3は、画像表示装置に 印加するスパーキング質圧の波形である。

【0015】以上のように にお成された 画像表示装置のスパーキングについて、図1、図3を用いて 説明する。まず、 画像表示装置をスパーキングさせる為に、背面 色極 1、 線陰極 2 と電極プロック 2 4 の電圧をグランドレベル (0V) とする。そして、スパーキング電圧として、前面ガラス容器 9 にメタルバックされたスクリーン 2 1 にプラスの高圧パルス電圧を印加する。この際、印加される高圧パルス電圧の波形の一例を図3に示す。このように、一定時間高電圧 (例えば数十kV)を印加することにより、メタルバックされたスクリーン 2 1 と背面電極 1 と線陰極 2 と電極プロック 2 4 との間に高い電位差が得られ、強制管内高圧放電による電気的衝率により前面ガラス容器の内壁の異物が除去されることとなる。

【0016】(実施例2)以下本発明の第2の実施例について、図面を参照しながら説明する。

り 【0017】図2は、本発明の第2の実施例における画 飲表示装置のスパーキングの様子を示した断面図であ る。図2において、1は背面電極、24は線陰極と各電 極からなる電極プロック、9は前面ガラス容器、10は 後面ガラス容器、26は前面ガラス容器加熱用ヒータで ある。図3は、画像表示装置のスパーキング電圧の波形 である。

【0018】以上のように構成された画像表示装置のスパーキングについて、図2、図3を用いて説明する。基本的な画像表示装置のスパーキング方法は、上記実施例1と同様である。この際、スパーキング時に、前面ガラス容器加熱用ヒータ26により、前面ガラス容器9を任意の沮度に加熱する。これにより、前面ガラス容器の内壁は活性化され、画像表示装置のスパーキング効果を増大させる。従って、より効率的に前面ガラス容器9の内壁の異物が除去されることとなる。

【0019】尚、ここでは背面電極1と線陰極2と電極プロック24の電圧をグランドレベル(0V)としたが、さらに高い電位差を確保する為、マイナスの高圧パルス電圧をプラスの高圧パルス電圧と同期させて印加しても同様の効果が得られることは言うまでもない。

【0020】また、ここではスパーキング電圧を高圧パ ルス電圧としたが、高圧直流電圧または高圧パルス電圧 と高圧直流電圧の組合せの方法としても効果的である。

【0021】さらに、図3において高圧パルス電圧のパ スパーキングの様子を示した断面図 ルス幅とパルス間隔を示したが、任意の時間としても良 【図2】同装置における第2の実施例のスパーキングの 41.

【0022】尚、実施例では前面ガラス容器9に形成さ れたメタルパック層をプラス側、背面電極1、線陰極2 と電極プロック24の電圧をマイナス例としたが、逆の 印加方法としても良い。

[0 0 2,3]

【発明の効果】以上のように本発明は、画像表示装置の 動作時より高い電圧をスクリーンに印加することによ り、電気的衝撃の作用で前面ガラス容器の内壁の異物が 除去されることとなり、スクリーンの不要なリーク電流 を減少させ、良質の画質を再現する画像表示装置を実現 できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の画像表示装置における第1の実施例の

様子を示した断面図

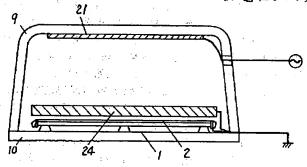
【図3】同実施例のスパーキング電圧の波形図。

【図4】 画像表示装置の基本構成を示す分解斜視図 【符号の説明】

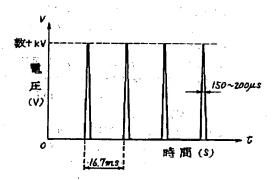
- 10 , 1 背面電極
 - 2 線陰極
 - 9 前面ガラス容器
 - 10 後面ガラス容器
 - 21 スクリーン
 - 24 電極プロック
 - 26 加熱用ヒータ

【図1】

- 9 前面ガラス容器 10 後面ガラス容器
- 21 スクリーン 24 電極プロック

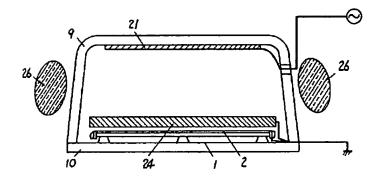




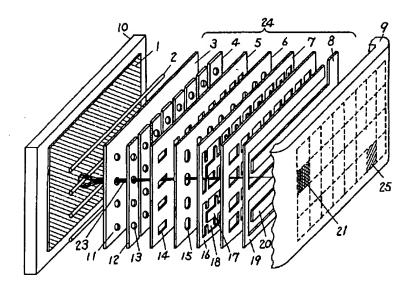


【図2】

1 背面電極 21 スクリーン 2 線陰極 24 電板プロック 9 前面ガラス容器 26 加熱用ヒータ 10 後面ガラス容器



[図4]



THIS PAGE BLANK (USPTO)